

コースコード：TO-PW-DEVASC

税込価格：247,500円 (税抜価格：225,000円)

日数：3日間

トレーニング内容

このトレーニングは、アソシエイトレベルのネットワークオートメーションエンジニアを目指す方のために作られています。

シスコプラットフォームをベースとした基本的なネットワークアプリケーションの実装方法と、ネットワーク、セキュリティ、コラボレーション、コンピューティングインフラの自動化ワークフローの実装方法について学習します。

ここに注目!!

シスコシステムズ社 認定トレーニング「DEVASC (Developing Applications and Automating Workflows using Cisco Core Platforms)」の日数を5日間から3日間に短縮し、

Cisco Certified DevNet Associate 認定 (200-901

DEVASC試験) 取得のために必要な知識を、3日間で効率良く学習することができます。

また、使用するテキストとラボガイドを日本語に翻訳しました。

対象回限定で受講料が最大30%OFFになるキャンペーンを実施中!

詳細は [こちら](#)

ワンポイントアドバイス

Cisco Certified DevNet Associate 認定 (200-901

DEVASC試験) 取得のために必要な知識を、3日間で効率良く学習することができます。

日本語のテキストとラボガイドを使用します。

受講対象者

このコースの受講対象者は次の通りです。

- ・シスコプラットフォーム上に構築されたアプリケーションの開発および保守について、1年以上の実務経験を持つ方
- ・ソフトウェア開発者、アプリケーション開発者、ネットワークエンジニアで、プログラマビリティ、ソフトウェア、自動化に関するスキルを向上させたい方
- ・Cisco Certified DevNet Associate認定の取得を目指す方

このトレーニングの受講に適した職種は次のとおりです。

- ・ネットワークオートメーションエンジニア
- ・ソフトウェア開発者
- ・システム統合プログラマ
- ・インフラストラクチャアーキテクト

- ・ネットワーク設計者

前提条件

このコースを受講する前に受講者が習得しておく必要がある知識およびスキルは次のとおりです。

- ・基本的なコンピュタリテラシー
- ・PCオペレーティングシステムの基本的な操作スキル
- ・インターネットの基本的な利用方法
- ・プログラミング言語（特にPython）の実務経験

目的

このコースを修了すると次のことができるようになります。

- ・現代のソフトウェア開発におけるAPIの重要性とバージョン管理ツールの使用方法を説明する
- ・HTTPの概念とネットワークベースのAPIへの適用方法を説明する
- ・HTTPベースのAPIとの統合にRESTの概念を適用する
- ・シスコのプラットフォームとその機能について説明する
- ・さまざまなシスコプラットフォームのプログラマビリティ機能を説明する
- ・モデル駆動型プログラマビリティの概念を応用し、Pythonスクリプトで一般的なタスクを自動化する
- ・開発パイプラインにおける一般的なアプリケーションの展開モデルとコンポーネントを特定する
- ・一般的なセキュリティの懸念とテストの種類を説明し、ローカル開発のためにコンテナ化を活用する
- ・スクリプトやモデル駆動型プログラマビリティによるインフラの自動化のためのツールを活用する

アウトライン

現代のソフトウェア開発の実践

ラボ 1: PythonでAPIデータ形式を解析する

ラボ 2: バージョン管理にGitを使用する

ネットワークベースAPIの紹介

ラボ 3: HTTPメッセージの検査

ラボ 4: Postmanを使用する

ラボ 5: HTTPエラー応答のトラブルシューティング

RESTベースAPIの使用

ラボ 6: PythonでAPIを利用する

シスコプラットフォームでのプログラマビリティの導入



ラボ 7: Cisco Controller APIの使用

ラボ 8: Cisco Webex TeamsコラボレーションAPIを使用する

モデル駆動型プログラマビリティの導入

ラボ 9: 基本的なNETCONF操作を実行する

ラボ 10: 自動化スクリプトにCisco SDKとPythonを使用する

インフラストラクチャの自動化

ラボ 11: インフラストラクチャ自動化ワークフローの構築

アプリケーションのテストと保護

ラボ 12: Python単体テストの構築

ラボ 13: Dockerfileを解釈する

ラボ 14: Dockerコマンドを使用してローカル開発者環境を管理する

ラボ 15: 不十分なパラメータのサニタイズを悪用する